

令和6年度 第2回益城町地域公共交通会議 運賃協議分科会

会議結果

■日 時 令和6年8月21日（水） 開始時間 地域公共交通会議終了後
終了時間 12:15

■会 場 益城町役場会議室2-4、5、6

■出席者 5名 ※敬称略

所属・役職等	氏名
益城町副町長	濱田 義之
熊交観光タクシー(株) 統括部長	山野 一平
益城町議会議長	中川 公則
益城町区長会長	土屋 洋一
熊本運輸支局 企画調整担当	白石 勇人

■事務局 益城町役場企画財政課 4名（松本課長、桑原係長、山内参事、山田主事）

■会議結果（概要）※別紙記録参照

議事 AI オンデマンドバスの導入にかかる運賃（案）について

令和6年度 第2回益城町地域公共交通会議 運賃協議分科会

日 時：令和6年（2024年）8月21日（水） 地域公共交通会議終了後～12：15

場 所：益城町役場 会議室 2-4、5、6

出席者：5名

内容：

1. 開会

2. 議事 AI オンデマンドバスの導入にかかる運賃（案）について

事務局より、参考資料および資料1、資料2に沿って説明

委員)

- 乗車中にその場で降車停留所を変更できないか。また、降車停留所を変更し、運賃が100円から200円に変更となった場合、運賃の支払いはどうなるか。

事務局)

- 事前予約の段階で乗車停留所と降車停留所、運賃等を確定させるため、乗車中の予約内容は変更できない。

委員)

- 乗客が1人しかおらず、次の予約が入っていない場合、乗車中に降車停留所の変更を希望される方への対応はどうしたらよいか。

事務局)

- 乗車中の予約内容は変更できないため、別途、次の予約を入れてもらうことになる。

委員)

- 運転手の操作画面からは、予約の入力はできないのか。乗車中の予約は変更できないという認識で予約するしかないか。

事務局)

- 車内に搭載するタブレットは、運転手用の操作画面であるため、個別予約の入力はできない。ご指摘のとおり、次の予約が入っている場合もあるので、乗車中の予約内容は変更できないということを周知していきたい。

委員)

- アプリでクレジットカード決済をした利用者が乗車しなかった場合、返金等の対応はどうなるか。

事務局)

- アプリでクレジットカード決済は可能だが、運転手がタブレット上で降車処理をしてから支払いが確定される。そのため、乗車していない場合には支払いが完了されることはない。

委員)

- 今回審議が必要となっている運賃について、金額が妥当であるかが論点であると思うが、運行開始後に交通事業者に影響があれば見直しが必要となるし、利用されていない場合にも改善しなければならない。運賃の金額が妥当かどうかは、運行開始後の利用状況や交通事業者への影響をみないと分からないと思う。

委員)

- 熊本市植木地区で実施しているA I デマンドタクシーの運賃はいくらか。

事務局)

- 熊本市は1日当たり300円で実施している。300円で複数回の利用可能。

委員)

- 運賃協議会の概要について説明すると、従来は、地域公共交通会議のなかで、運賃についても審議できたが、複数の交通事業者が会議に参加しているなかで運賃を決めることは、独占禁止法に抵触する恐れがあるため、このような協議会を開催し、運賃については限られた出席者のなかで審議することとなった。
- この協議会開催にあたり、法律上、市町村で住民あるいはその他利害関係者の意見を会議に反映させるための措置を講じることとなっている。今回は、事務局で事前に住民説明会や関係者説明を実施されている。
- 地域公共交通会議でも、運賃について様々な意見がでたが、運賃案のとおりで実施するかを確認したい。共創・Maas 実証プロジェクトの補助金を活用していることもあり、できれば関係事業者等との調整が済んでいる状態で実証運行を開始することが望ましい。
- 他地区では、安い運賃で乗合タクシーを実施したところ、路線バス廃止やタクシー会社の廃業につながったケースもある。業界全体で人員不足等、厳しい状況にあり、事業者が地域で残っていくためには一定の配慮も必要であると思う。長期的な視点で、町内の交通ネットワークをご検討いただきたい。
- 交通会議でも様々な意見が出ているので、運行開始前にタクシー事業者やバス事業者に再度、今後の見直し等を含めた説明を行ったうえで、事業を進めていただきたい。
- 本来は、事前の意見収集の段階で運賃に関する懸念等の意見を聞き、それをふまえて協議会で審議することとなるが、配布された意見収集の資料には交通事業者からの意見の記載がない。地域公共交通会議でも確認した内容と重なるが、事前の意見収集の際、交通事業者から運賃に関する意見がなかったのか確認したい。
- 一度設定した運賃を上げるとなると、かなりの労力が必要となる。その点もふまえて、ご検討いただきたい。

事務局)

- コミュニティバス利用者等からの「運賃が高い」といったご意見を反映させるため、今回の運賃設定を行っている。また、A I オンデマンドバスは路線バスに接続する位置づけで運行させるため、路線バスが運行する区間については乗降不可の設定をしている。運賃案のとおり実証運行を実施したい。
- バス事業者への事前説明で、特段、運賃に関するご意見は出なかった。

委員)

- 町でタクシー券（500円×8枚綴り）を交付しており、タクシーで買い物に行くときにタクシー券を使用した場合でも100円程度の手出しが必要との声もある。町民としては、安い運賃で気楽に利用できるほうがいい。

委員)

- 法律上、運賃について、地域の実情をふまえ、地域で決定できることとなっているが、交通事業者との調整が済んだうえで実施したほうが、将来的にも継続しやすいと思う。
- A I デマンドバスは利便性も高く、高齢者にとっても外出の促進につながり、健康・福祉の面でも効果的と考えられ、良い取り組みだと考えているため、いい形で運行していただきたい。

事務局)

- 実証運行開始に向けた説明会や期間中の見直しを含めて、バスやタクシーの既存交通にも配慮しながら取り組んでいきたい。

委員)

- 台湾から寄付でいただいた車両を使用して運行すると認識しているが、バスが使用できなくなった場合は事業中止となるのか。

事務局)

- A I オンデマンドバスの運行にあたっては、事業者所有の車両を使用して運行を予定している。代替車も事業者の車両を使用予定。継続した運行が可能となるよう体制を構築していきたい。

委員)

- 町議会議員や区長、民生委員等の説明会を実施しているが、「AI オンデマンドバス」という名称では実際にどのように運行するかが分からない。住民には広く説明していく必要がある。

事務局)

- 9月下旬に住民向け説明会を開催し、予約方法等説明していきたい。また、地域サロンなどの地域の会合等で説明する機会があれば、出向いて説明していきたいと考えている。
- これまでの説明会は、停留所の位置や運行計画案への意見をいただくために説明会を開催してきたが、今後は決定した運行内容や利用方法を周知するための住民向け説明会を開催していきたい。
 - 議案について賛成・承認

3. 閉会

以上